



飯館村長

杉岡 誠

新春を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、村民の皆様、ふるさとの担い手の皆様の「わくわく」の花が力強く咲き始める年となりました。また、村内で創意工夫溢れるイベントが年間を通じて多数開催され、話題に事欠かない一年ともなりました。

「いたてホッププロジェクト」で飯館村初のクラフトビールが製品化され話題を集めたほか、「あぶくまもち」がセブンイレブンの冬ギフトカタログに掲載され、全国デビューを果たしました。また「飯館村産黒毛和牛」をはじめとする、農家の皆様が丹精をこめて育まれた村産品をふんだんに使ったメニューを全国各地で提供して、ファンを増やす取り組みも継続してきました。

本年は、村初のドラッグストアのオープンが控えております。産業

団地の早期整備、新たな企業誘致の推進、スポーツを通じた健康寿命の増進、訪問型医療・福祉の拡充、子ども達の笑顔溢れる教育環境の充実などを進めます。また、

昨年村内に開店した民宿やスイーツのお店、農業研修館きらりや、各店舗と連携した関係人口を増やす取り組みも進めて参ります。

「村を興さん、村を富まさん」とする村民の皆様の類まれなる熱意・意欲を大事にさせていただきながら、行政として、共に発展に取り組んで参ります。

そして、『村民が幸せになることが自治体としての使命』という基本に立ち返り、脱皮や再生を連想させるこの「巳年」が新たなはじまりの契機となるよう、未来に向けた村政運営に努めます。

結びに、皆様の益々の健やかさとお幸せをお念じ申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



飯館村議会議長

高橋 孝雄

新年を迎え年頭のご挨拶を申し上げます。
村民の皆様におかれましては、新年を迎えまして益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますれば、一月元日に突然、能登半島を襲った大きな地震により、多くの尊い命を奪われてしまいました。それに追い討ちをかけるような大雨洪水に、またも大切な人達が流されてしまいました。犠牲になられた方々に謹んでお悔やみ申し上げると共に心よりご冥福をお祈り致します。

そして今尚、仮設住宅で不自由な生活を送られて居ります皆様に心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早く平穏な生活に戻れますようお願いいたします。

さて、飯館村も震災原発事故から13年10か月、現在帰村されてい

る村民の皆様は、震災前の4分の1、そして避難先で仕事を見つけて働く人達は村に戻っても、働く所がないので戻れないと言っております。村に働く場所をつくるには、

工業団地を早く完成させて、企業の誘致を進める事で働く所が確保出来ます。さらには先祖代々引き継いだ田畑を荒さない為にも、村に戻り作物栽培をする事が村の復興を加速させますので、村民皆様のご協力をお願い致します。

そして子ども達の元気な声が大人達の大きな励みになります。子ども達の成長にしても、我が身を抓(つか)つて人の痛みの解る、優しく賢い人に育つように願うばかりです。震災原発事故前の美しい飯館村に戻して未来の子ども達に引き継いでいきたいと思ひます。

村民皆様のご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

迎春

令和七年